



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社VLCセキュリティ 上場取引所 名
 コード番号 2467 URL <https://www.vlcsecurity.com/>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長兼CEO （氏名） 石原 紀彦
 問合せ先責任者 （役職名） 取締役CFO （氏名） 高橋 恭一郎 TEL 03-4500-6500
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	289	△1.8	△161	—	△165	—	△165	—
2026年3月期第1四半期	294	△18.9	△130	—	△130	—	△136	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 487百万円（154.9％） 2026年3月期第1四半期 191百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△11.95	—
2026年3月期第1四半期	△10.57	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	1,906	1,068	56.0	77.03
2026年3月期	1,196	583	48.5	41.87

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 1,067百万円 2026年3月期 580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,000	119.6	300	—	300	—	200	—	14.42

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業績管理を行っていることから、第2四半期（累計）の連結業績予想開示を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	13,860,800株	2026年3月期	13,860,800株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	13,860,800株	2026年3月期1Q	12,939,425株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイト上で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(表示方法の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇や国際情勢の変化等により、先行き不透明な状況が続いております。サイバーセキュリティ市場においては、ランサムウェア攻撃やサプライチェーン攻撃の脅威が継続して高まるとともに、生成AIの普及に伴うAIガバナンスや情報セキュリティ対策への需要が拡大しており、市場は引き続き成長基調で推移しております。

このような経営環境の下、当社グループは、中長期的な成長と競争力強化を目的として、高度セキュリティ人材の採用・育成、営業体制の強化及びシステム基盤の整備を推進するとともに、セキュリティコンサルティング、脆弱性診断、DFIR（デジタルフォレンジック・インシデントレスポンス）等の成長分野の拡大に注力いたしました。

セキュリティコンサルティングソリューション及びセキュリティ診断・調査ソリューションは堅調に推移したものの、サイバートレーニング関連サービスにおいて前年同期の大型案件の反動影響等があったことから、売上高は289百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。一方で、将来の事業拡大を見据えた人材採用及びシステム投資等の先行投資を継続した結果、営業損失161百万円（前年同四半期は営業損失130百万円）、経常損失165百万円（前年同四半期は経常損失130百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失165百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失136百万円）となりました。

セキュリティ診断・調査ソリューションについては、国内におけるランサムウェア攻撃やサプライチェーン攻撃への対策需要を背景として、企業のセキュリティ投資が堅調に推移したことに加え、DFIR（デジタルフォレンジック・インシデントレスポンス）やセキュリティ調査案件の受注拡大により、当第1四半期連結累計期間の売上高は99百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

セキュリティコンサルティングソリューションについては、情報セキュリティ認証取得支援サービスの売上が引き続き堅調に推移したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は125百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。今後の市場拡大が期待されるセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）への対応強化を推進しております。

サイバートレーニングソリューションについては、収益性向上及び非連続的な成長を図るため、トレーニングのリモート提供、eラーニング、日本独自の新規プログラム開発などを推進しましたが、前期に引き続きトレーニング施設『CYBERGYMアリーナ』の集約・強化による影響を受け、当第1四半期連結累計期間の売上高は64百万円（前年同四半期比23.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて710百万円増加し、1,906百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて144百万円減少し、458百万円となりました。これは、現金及び預金が73百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が198百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて854百万円増加し、1,448百万円となりました。これは、投資有価証券が853百万円増加したことなどによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて30百万円増加し、336百万円となりました。これは、契約負債が55百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて194百万円増加し、501百万円となりました。これは、繰延税金負債が201百万円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて485百万円増加し、1,068百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が652百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失165百万円を計上したことなどによります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.5%から56.0%となり、1株当たり純資産が41円87銭から77円03銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、サイバーセキュリティ分野での事業拡大に向けた人員増に伴う人件費等の増加や開発投資により、前連結会計年度において営業損失388百万円、経常損失372百万円、親会社株主に帰属する当期純損失385百万円となり、損失を計上しております。また、当第1四半期連結累計期間においても、営業損失161百万円、経常損失165百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失165百万円となり、連続して損失を計上しております。

上記のとおり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、資産及び負債の内容、並びに事業計画及び資金繰り計画等に鑑み、当第1四半期連結会計期間末において十分な資金を有しております。従いまして、当社グループについて継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	123,754	196,925
受取手形、売掛金及び契約資産	315,459	117,433
仕掛品	26,149	39,449
原材料及び貯蔵品	281	251
その他	137,561	104,518
貸倒引当金	△422	△409
流動資産合計	602,783	458,169
固定資産		
有形固定資産	1,167	6,841
無形固定資産		
ソフトウェア	8,028	8,234
無形固定資産合計	8,028	8,234
投資その他の資産		
関係会社株式	29,370	26,778
投資有価証券	494,030	1,347,885
敷金及び保証金	59,179	56,695
繰延税金資産	1,772	1,772
その他	4,356	4,335
貸倒引当金	△3,750	△3,750
投資その他の資産合計	584,959	1,433,716
固定資産合計	594,154	1,448,792
資産合計	1,196,938	1,906,961
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,153	36,026
1年内返済予定の長期借入金	38,088	38,088
未払金	61,138	46,708
未払費用	8,657	10,302
未払法人税等	7,378	798
契約負債	118,415	173,959
事業所閉鎖損失引当金	5,209	5,292
その他	27,457	25,794
流動負債合計	306,498	336,970
固定負債		
長期借入金	71,606	62,084
退職給付に係る負債	48,476	50,997
繰延税金負債	186,957	388,410
固定負債合計	307,039	501,491
負債合計	613,538	838,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	128,390	128,390
資本剰余金	576,320	576,320
利益剰余金	104,731	△60,861
株主資本合計	809,442	643,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214,728	437,674
為替換算調整勘定	△14,379	△13,805
その他の包括利益累計額合計	△229,107	423,868
新株予約権	3,065	782
純資産合計	583,400	1,068,499
負債純資産合計	1,196,938	1,906,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	294,941	289,552
売上原価	184,796	175,951
売上総利益	110,144	113,600
販売費及び一般管理費	240,628	274,748
営業損失(△)	△130,483	△161,148
営業外収益		
受取利息	13	71
助成金収入	200	150
持分法による投資利益	553	—
貸倒引当金戻入額	—	13
キャッシュバック収入	82	202
その他	3	13
営業外収益合計	853	449
営業外費用		
支払利息	693	558
株式交付費償却	27	—
社債発行費償却	246	—
為替差損	153	799
支払手数料	—	6
リース解約損	—	703
持分法による投資損失	—	2,592
営業外費用合計	1,121	4,659
経常損失(△)	△130,751	△165,358
税金等調整前四半期純損失(△)	△130,751	△165,358
法人税、住民税及び事業税	6,701	235
過年度法人税等戻入額	△621	—
法人税等合計	6,079	235
四半期純損失(△)	△136,831	△165,593
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△136,831	△165,593

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△136,831	△165,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	329,085	652,402
為替換算調整勘定	△1,052	573
その他の包括利益合計	328,032	652,975
四半期包括利益	191,201	487,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,201	487,382
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(表示方法の変更)

前第1四半期連結累計期間において「営業外収益」の「その他」に含めていた「キャッシュバック収入」は金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より独立掲記しております。この表示方法を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた85千円は、「キャッシュバック収入」82千円、「その他」3千円として組替えております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社グループは、セキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

当社グループは、セキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	289千円	1,172千円